

(案)

武収第 3 2 5 7 号の 2
令和 2 年 8 月 日

武蔵村山市長
藤 野 勝 様

武蔵村山市廃棄物減量等推進審議会
会 長 佐 藤 克 春

令和 2 年 7 月 2 7 日付武発第 7 1 0 号で諮問のあったこのことについて、当
審議会において審議した結果、下記のとおり答申します。

記

事業系ごみは、許可業者が中間処理施設である小平・村山・大和衛生組合に搬
入しているが、その処分費について、武蔵村山市は多摩 2 6 市中では東大和市と
ともに 2 番目に低く、1 キロ当たり 2 5 円となっており、多摩 2 6 市の平均と比
較しても安価である。

このことから、近隣市との均衡を考慮するとともに、受益と負担の適正化を再
検証し、更なるごみの減量及びリサイクル促進が図られるよう、必要な処理手
料の見直しを行うこと。